

いちはら



社協だより

社協だより5/20、1/20発行号は、町会長の皆様にご協力いただき町会回覧にて世帯配付しています。



【発行】市原市社会福祉協議会 〒290-0075 市原市南国分寺台4-1-4 TEL.0436 (24) 0011 FAX.0436 (22) 3031

<http://www.ichihara-shakyo.or.jp>  
E-mail [info@ichihara-shakyo.or.jp](mailto:info@ichihara-shakyo.or.jp)



公式LINEアカウント  
はじめました

市原市社会福祉協議会について  
ID検索 @111xpewj



指定管理施設について

- ◎市原市姉崎保健福祉センター(アネッサ)
- ◎市原市三和保健福祉センター(サンハート)
- ◎市原市南部保健福祉センター(なのはな館)

ID検索 @612nqqzy



新年のご挨拶

社会福祉法人市原市社会福祉協議会 会長 船山慶子

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、本会の福祉活動に深いご理解と格別のご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、生活様式の変化に伴い、孤立やひきこもり、不安定な雇用情勢による貧困問題など、複雑な課題が顕在化しています。

このような中、本会といたしましても、コロナ禍で経済的に困窮した方を対象とした国の特例貸付の相談窓口として多くの相談を受けるとともに、新たに市原市独自の食糧支援(フードバンク)の実施や、地域の居場所である「地域食堂・子ども食堂」の推進役を担うなど、新たな取り組みに力を入れて参りました。

本年も引き続き『地域共生社会』の実現に向け、地域住民をはじめ地域の多様な主体と連携・協働しながら第6次地域福祉活動計画の取り組みの具現化を推進して参りたいと存じますので、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年 元旦

静岡市災害ボランティア

職員2名派遣

市原市社会福祉協議会では、令和4年台風15号災害にともない静岡市災害ボランティアセンター(清水区センター)の運営を支援するため、10月9日(日)～13日(木)、11月2日(水)～6日(日)の2クールにおいて、社会福祉協議会における「災害支援協定」に基づき、千葉県チームとして職員2名を派遣しました。

派遣されたチームは各班に配置され、前半は二重班、後半はマッチング班として被災現場の支援活動に取り組みました。

現在も静岡県内において多くの市町村社協が災害ボランティアセンター等を設置し、被災者支援活動を行っています。

この度の台風15号による被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。



被災地の支援要請を収集、整理



ボランティアを現場に派遣する役割

ありがとう 寄附 (8月～11月) 敬称略

- 匿名(光風台在住) 40,000円
- 市原ライオンズクラブ 会長 宮原寛亮 10,000円
- 匿名(若宮在住) 16,000円
- イトーヨーカドー労働組合 姉崎支部 4,626円
- 大野彰久 27,395円
- 匿名(南国分寺台在住) 100,000円
- 明治安田生命 千葉県支社 20,000円

タオル48枚 お菓子48袋

- 布の会 10,000円
- 鶴舞病院「美人会」 22,480円
- 匿名 55円
- 千葉よみうりカントリークラブ 90,321円

財産 将来 契約 後見制度  
不安になったら…まずはご相談を!

令和4年度 成年後見制度専門相談開催

成年後見制度利用についての専門相談を弁護士が行います。既に、親族の後見人等を受任している方のご相談もお受けします。

1.開設日 市原市社会福祉協議会(いちはら後見支援センター)

(住所:市原市南国分寺台4-1-4)

2.時間 午後1時30分から午後4時30分

3.利用料 無料

4.対象者 市内在住の方。市内関係機関の方。

5.予約先 ☎0436-26-6200

【いちはら後見支援センター】

※予約の方が優先になりますので、事前にご予約下さい。

職員による後見制度の相談は、平日8時30分から17時15分まで対応しています。お気軽にお問合せ下さい。

1月26日(木)

2月22日(水)

3月23日(木)

～あなたの“力”や“特技”を地域で活かしてみませんか～  
日常生活支援事業担い手

養成講座受講者募集

(部屋の掃除、庭の草取り、買い物代行など)

日時 令和5年2月22日(水) 13:30～16:30

会場 ウエルシア・コミュニケーションセンターいちはら(南国分寺台4-1-1)

対象 地域での支え合い活動に興味関心のある方  
※日常生活支援事業を実施している地区  
➡辰巳台・ちはら台・三和・市津・有秋地区

内容 講義及び実践発表等

参加費 無料

申込み締切 令和5年2月13日(月)

有償の活動です!!

申込み  
問合せ先

ボランティアセンター TEL 0436-20-3100 FAX 0436-22-3031

※電話またはFAXで ①氏名 ②住所 ③連絡先を添えてお申込み下さい。 ※新型コロナウイルスの感染状況によって中止となる場合があります。



～聴き上手になるために～  
傾聴ボランティア

養成講座受講者募集

日時 令和5年3月4日(土)・11日(土)・18日(土)  
13:30～16:00

会場 市原市社会福祉協議会 3階

対象 傾聴ボランティア活動に興味のある方  
(全日程受講できる方)

定員 30名(先着順)

内容 ◎傾聴についての講義及び演習 ◎活動紹介

参加費 無料

申込み締切 令和5年2月22日(水)



地域のみんなで子育てを!

# いちほらファミリー・サポート・センター

## 協力会員募集!

### いちほらファミリー・サポート・センター(ファミサポ)とは?

安心して子育てができる環境づくりを目指して、子育ての手助けをしてほしい方(利用会員)を子育ての手助けをしたい方(協力会員)が地域において助け合う、有償の相互援助活動です。



## いちほらファミリー・サポート・センターでは協力会員を募集しています!

子供が好きな方、ご近所の頼れる存在となって活躍してみませんか?当センターは、地域のみんなで安心した子育てが出来る環境づくりを目指しています。ぜひ、あなたのお力をお貸しください!!

※利用会員の方でも、協力会員を兼ねて両方の会員になる事が出来ます。ご興味のある方は是非ご相談ください。



### 活動例

- 保育施設、学校などへの送迎や、送迎前後の預かり
  - 宿泊を伴わない臨時的な預かり
- ※活動できる範囲、内容で依頼をさせていただきます。

### 活動報酬

- 利用時間：午前7時～午後8時
  - 利用料金：月～金 700円/1時間  
土日祝 900円/1時間
- ※就労ではなく有償のボランティア活動です。定期的な収入を見込めるものではありません。

お問合せ先

いちほらファミリー・サポート・センター (市原市社会福祉協議会 内)  
〒290-0075 市原市南国分寺台4丁目1番地4 TEL:0436-24-0011/FAX:0436-22-3031

産み、育てられる優しいまちづくりを目指して!

# 市原市出産前後家事等サポート事業『家事サポ』について

### 家事サポとは?

妊娠中や出産後の心身ともに不安定な時期に、家事や育児の手伝いをしてくれる人がいない家庭を対象として、ヘルパーを派遣します!ヘルパーの派遣は有料ですが、利用料の一部を市が助成します!

**対象者** 妊娠中または出産後1年以内で、昼間、家事や育児の手伝いをしてくれる人がいない家庭

**サービス内容** 家事、育児に関する援助

(※詳細についてはお問合せください。内容によっては対応出来ない場合がありますので、予めご了承ください。)

**利用回数・時間** 1回 1時間 もしくは 2時間 (年末年始を除く午前8時～午後6時)  
20回(多胎の場合は40回)までご利用いただけます。

**利用料金** 初回の利用料は無料です。(2回目以降有料)

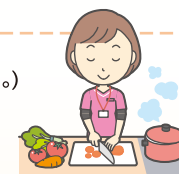
	サービス料金	市原市助成金	自己負担額
減 免 世 帯	2,250円	2,100円	150円
その他の世帯	2,250円	1,350円	900円

●こちらは1時間あたりの料金となります

※ヘルパーの派遣を中止する場合、キャンセル料が発生する場合があります。

お問合せ先

社会福祉法人 市原市社会福祉協議会  
〒290-0075 市原市南国分寺台4丁目1番地4 TEL:0436-24-0011/FAX:0436-22-3031



契約したヘルパー事業所からヘルパーさんが派遣されます!



安心して暮らせる地域づくりのために

## 安心生活見守り支援事業 安心訪問員交流会開催!

令和4年10月18日(火)に姉崎保健福祉センターで、安心生活見守り支援事業の安心訪問員交流会を開催しました。ここ2年間はコロナ禍で開催することができず、3年ぶりの開催となりました。前半は、3か所の地域包括支援センターから「安心訪問員の気づきから地域包括支援センターにつなぎ解決された事例」の発表があり、安心訪問員の日頃の見守り活動がいかに重要かを再認識することができました。後半のグループワークでは、安心訪問員の皆さまとコロナ禍での見守りの留意点や今後の活動についてなど、活発な意見交換をすることができました。

今後も加速する高齢化に向けて、地域で安心して暮らせるために、本事業の推進や連携を強化していきます。

### 安心生活見守り支援事業とは…

高齢者や障がい者で見守りを希望する方を対象に、安心訪問員が定期的な見守りや安否確認を行います。異変に気が付いた際には、地域包括支援センターなどの関係機関につなぎ、適切な支援が受けられるようにしています。

この事業は市内の小学校区ごとに設置されている小域福祉ネットワークが主体となって活動しており、現在41の小域福祉ネットワークで実施されています。



実践発表の様子

全域実施を目指して!

## 日常生活支援 事業交流会開催



令和4年11月4日(金)にウエルシア・コミュニケーションセンターいちほら多目的室で、日常生活支援事業交流会を開催しました。

前半は日常生活支援事業を実施している2地区から実践発表があり、活動をする上でのポイントなど参考になる話を聞くことができました。後半にはグループワークを行い、実践者同士の交流や未実施地区の実施に向けたアドバイスなど活発な意見交換を行うことができました。

### 日常生活支援事業とは…

公的制度や民間サービスで補えない地域住民の日常生活上のちょっとしたこまごまと(家事や買い物の代行など)に対し、住民同士で支え合う活動です。

会員制・有償制となっており、市原市では、現在5地区(辰巳台、ちはら台、三和、市津、有秋)で実施しています。



姉崎地区の実践発表



グループワークの様子



## 災害ボランティア養成講座



もしもの時の  
力に!

基本編

60名参加!!

11月3日(水・祝)に姉崎保健福祉センター(アネッサ)で、「災害ボランティア養成講座【基本編】」を開催しました。当日は「災害ボランティアセンターの役割」や「市原市の災害リスク及び災害時の対応」について学んだ後、災害ボランティア活動連絡調整会議構成団体の協力で、工具の使い方(のこぎり・くぎ抜き)や土のう袋作り、ロープワーク、応急手当等、災害時に想定される活動を体験しました。講座終了後には、「災害ボランティア事前登録制度」に24名の方が登録されました。



工具の使い方  
(のこぎりの使い方)



ロープワーク  
(枝のまとめ方)



工具の使い方  
(くぎ抜きのポイント)



応急手当  
(止血法)



土のう袋  
(結び方・積み方のポイント)

初開催!

ステップアップ編

26名参加!!

11月27日(日)に姉崎保健福祉センター(アネッサ)で、「災害ボランティア養成講座【ステップアップ編】」を開催しました。この講座は令和2～3年に「災害ボランティア事前登録制度」に登録したボランティアを対象に開催したもので、公益社団法人SL災害ボランティアネットワーク常務理事天寺純香氏をお迎えし、「活動先でのリーダーの役割」・「二次災害に備えての安全管理」・「被災者と接する上での配慮」などをグループワーク形式で学びました。

講義の様子



グループワークの様子



今後も事前登録いただいた方々と連携し、災害時、迅速かつ効果的に救援活動が行えるよう支援体制の強化を図っていきます。